

あつぎ市議会だより

第227号 発行日/平成27年8月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

6月定例会議

厚木市立病院
広報広聴

特別委員会が調査・研究の状況を報告

議会基本条例など8議案を可決

6月定例会議は、6月1日から24日までの会議期間24日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、固定資産評価審査委員会委員の選任や固定資産評価員の選任のほか、人権擁護委員の候補者の推薦、動産の取得、一般会計補正予算の6議案です。このうち、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「固定資産評価員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について(2件)」を除いた2議案は質疑終了後、上程された陳情とともに所管の常任委員会に付託されました。

本会議第2日から第4日までの3日間、議員17人が登壇し、一般質問が行われました。

また、休会中に各常任委員会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」「固定資産評価員の選任について」「人権擁護委員の候補者の推薦について(2件)」に対する質疑が行われ、採決の結果、同意しました。その後、各常任委員長からの審査結果報告、2会派による討論が行われ、採決の結果、全議案可決しました。

さらに、議員から「厚木市議会基本条例について」など議案2件が追加提出され、いずれも可決しました。

動産の取得

可決した動産の取得は、次のとおりです。

○取得する動産＝高機能消防指令センター設備機器および消防救急デジタル無線(活動波)設備機器

○取得金額＝3億672万円

○契約の相手方＝三峰無線株式会社

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計の1件です。

歳出の内容は、三田小学校のグラウンド再整備事業用地において、文化財保護法に基づく埋蔵文化財の本調査が必要となったことから、小学校校舎等整備事業費の増額や、郷土芸能を行う団体に対して補助するため、郷土芸能コミュニティ事業補助金を措置するほか、埋蔵文化財の本調査に伴い、新たに調査担当者などに係る経費が必要となるため、埋蔵文化財調査費を増額するものです。

全国市議会議長会

在職15年の表彰

6月17日、日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会定期総会において、本市議会議員3人が議員在職15年として、全国市議会議長会会長から表彰されました。表彰を受けた議員は次のとおりです。

ぬまた 沼田	こういち 幸一議員(あつぎみらい)
いしい 石井	つねお 恒雄議員(市政クラブ)
たかだ 高田	ひろし 浩議員(改革あつぎ)

既定の歳入歳出予算に

5429万円を追加し、補正後の予算額は778億5567万4千円になりました。

固定資産評価審査委員の選任に同意

固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴う後任委員として、加藤

恵美子氏(中町)を選任したいとの議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

固定資産評価員の選任に同意

固定資産評価員に野元薫市財務部長を選任したいとの議案が市長から提出され、賛成全員で同意しました。

人権擁護委員2氏の推薦に同意

人権擁護委員14人のうち、2人の任期が満了することに伴い、横浜地方事務局長から後任委員の推薦依頼を受けた市長から意見を求められ、次の方々の推薦に賛成全員で

議員提出議案

可決した議員提出議案は、条例の制定と一部改正の2件です。

「厚木市議会基本条例」は、さらなる議会改革を目指すとともに、これまでの一連の取り組みを含む議会運営に関する基本的な事項を定めるため、制定するものです(関連記事6面に掲載)。

「厚木市議会政務活動費の交付に関する条例」の主な改正内容は、厚木市議会基本条例の制定に伴い、所要の措置を講ずるため、改正するものです。

主な内容

- | | |
|-----------|------|
| ◆一般質問 | 2～5面 |
| ◆委員会の審査 | 6面 |
| ◆議会基本条例 | 6面 |
| ◆特別委員会の報告 | 7面 |
| ◆本会議の審議結果 | 8面 |



古民家岸邸に飾られた笹竹に願いを込めて短冊を結ぶ子どもたち



今定例会議では、17人の議員が3日間にわたり一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えをたどしました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(掲載は質問順)。

職員の勤勉手当の支給改善ができないか

改革あつぎ 徳間 和男議員



問 職員を削減している分も考慮し、勤勉手当の総額は増額しても良いと考える。厚木市独自の給料表をつくり、頭や体を使って一生懸命働いてもらう発想が必要ではないか。

答 総務部長 これまでの行政改革で職員数もかなり削減してきたが、市長の意思で削減額は市民サービスに回すよう進めている。独自の給料表の研究はしていきたいと思うが、難しい面があるのも事実である。

●寄付などへの協力推進
問 道路などの自費施工と指定寄付の2つの方法があるが、知らない人が多い。理解を深める必要があるが、どう努力する

か。
答 財務部長 自費施工が寄付行為に当たるかは難しい部分があるが、大きく捉えれば寄付に類似したものと考えている。市民にどこまで理解されているか、今後、関係部とも相談しながら研究してみたい。

市街地における高齢化

問 市街地の変化についてどのように判断し、対応しようとしているのか。

答 政策部長 人口が集中する厚木地区で高齢化率が高まることは先々非常に心配な部分であり、しっかりと押さえながら、これからの中心市街地や各地区のまちづくりを検討しなければいけないと認識している。

自転車事故を防止するための施策は

あつぎ市民の党 奈良 握議員



問 道路標識などを改善すべきでは。

答 市長 車両や歩行者に対して通行の禁止、制限などの規制を行う規制標識や、必要な地点で指示を行う指示標識は、公安委員会が設置している。そのため、内容を改善する必要があるときは、地域からの要望をもとに厚木警察署に依頼している。

問 住宅地や中心市街地には一方通行が多くあるが、道路交通法を順守し、自転車に乗って歩行者と衝突する危険が多発する箇所がある。改善の余地はあるか。

答 宮台副市長 自転車の安全な利用の在り方については、歩行者も含めて動線としてどう捉えるか、さまざまな視点から考える必要がある。そうした視点でこれから点検し、どのような形であるべきかを検証していきたい。

問 危険管理部長 一方通行のため、すぐ近く目的の地を利用できない。

答 市長 本市では平成27年度から保育料の軽減を図っており、今後生活の安定を図るため、寡婦控除のみなし適用の項目の拡大を研究する。

非婚家庭の寡婦控除のみなし適用は

日本共産党 栗山 香代子議員



問 本市では、非婚のひとり親家庭の数が10年前の倍である。母子世帯の年間収入の平均と比べ、未婚の母子世帯は一番少なく、子どもの貧困にもつながる。そのため、寡婦控除のみなし適用の拡大検討はできないか。

答 市長 本市では平成27年度から保育料の軽減を図っており、今後生活の安定を図るため、寡婦控除のみなし適用の項目の拡大を研究する。

交通対策の現状と今後の課題は

市政クラブ 井上 敏夫議員



問 市内では構造的な問題から交通事故が多い。そのような場所を生成んだ理由が都市計画であり、きちんとした将来計画を立てる必要があるのではないか。

答 霜島副市長 交通問題については、さがみ縦貫道ができ、地域の方の協力を得て交通の利便性が向上したという声も聞いている。道路整備も含め、厚木市全体の交通計画の検討を進めている。

延焼火災

問 厚木市は道路などの社会基盤整備の遅れから消防水利がしっかりと備わっていない。そのため延焼火災につながっているのではないか。

答 消防長 道路の狭い地域や住宅密集地域などを火災防壁強化地域と考える。



中心市街地の浸水対策

問 浸水対策工事では、住民生活に大きな影響が考えられるので、丁寧な説明が必要である。また、国の社会資本整備総合交付金を確保し、工事については早くする必要があるのでないか。

答 河川みどり部長 交付金を確保し、住民への影響を考え、工期をできるだけ短縮するように検討した上で、十分な住民説明をして進めていく。

中心市街地の駐輪

問 放置自転車の撤去費用は、年間2100万円かかる。定期利用の拡大と併せ、一時利用の駐輪場を小まめに作れないか。

答 政策部長 自転車は身近で手軽な乗り物である。公共交通と合わせ、今後は、総合的な交通計画をつくる必要がある。



第3回会議を4月21日に開催

第3回会議が4月21日に開かれました。

市長から提出された議案は、専決処分の承認や条例の一部改正のほか、一般会計補正予算、特別会計補正予算の5議案で、質疑の後、採決し、可決・承認しました。

専決処分

承認した専決処分議案は、条例の制定と一部改正の2件です。

内容は、子ども・子育て支援法の制定および子ども・子育て支援法施行令の一部改正に伴い、特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の保育料などに関し、必要な事項を定めるため、「厚木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例」を制定するほか、地方税法などの一部改正に伴い、原動機付自転車などに対して課する軽自動車税の改正税率について、適用開始時期を平成27年4月1日から1年間延期するなど、所要の措置を講ずるため、「厚木市市税条例」などの一部を改正する必要があるが、いづれも、厚木市議会会議規則に規定する会議時間内に議会の開催を請求することができず、市長が専決処分したことにつ

条例の改正

いて、議会の承認を求められたものです。

可決した条例の一部改正議案は、「厚木市介護保険条例」の1件です。内容は、介護保険法施行令の一部改正に伴い、同令第39条第1項第1号に掲げる者の介護保険料を減額賦課するため、改正するものです。

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計と介護保険事業特別会計の2件です。

一般会計補正の主な歳出の内容は、介護保険料の負担軽減を図るため、介護保険事業特別会計繰出金を増額するもので、既定の歳入歳出予算に2138万4千円を追加し、補正後の予算額は778億138万4千円になりました。

介護保険事業特別会計補正の主な内容は、第1号被保険者の保険料を減額するとともに、この減額した額と同額の低所得者保険料軽減繰入金を増額するものです。

議員の住所変更

松本議員から住所等変更届が提出され、住所が上荻野1344-1に変更されました。



デマンド交通を どのように認識しているか

日本共産党 釘丸 久子 議員



問 デマンド交通のメリット・デメリットは。

答 市長 事前予約により運行し、多様な運行形態が可能で、路線バスにはない利点が多く、乗り合いによる地域住民の移動手段の確保に有効な交通システムであると認識している。一方、予約の煩わしさや、利用者一人当たりの輸送コストが高いなどの課題がある。今後は、地域の実情に即した交通システムの調査研究を行っていききたい。

●市長の平和への思い

問 今国会では、平和安全法制整備法案などが審議されている。平和首長会議に加盟している市長の平和への思いは。

答 市長 「戦争はよ

くないですよね。」と95歳、100歳の方から言葉を掛けられた。直接戦争を経験されている方々の生の声は、重く受け止めておくべきではないかと思っている。平和首長会議にも、私自身がぜひ入らせていただこうという姿勢で参加している。平和安全法制整備法案などについては、国の安全保障に係る問題であり、国会での審議を見守ってきたい。

ホームページの 議会情報

厚木市議会では、より開かれた議会を目指し情報発信に努めており、ホームページで次の情報をご覧いただけます。

- ◆インターネット議会中継
本会議・常任委員会・特別委員会などの生中継と録画中継
- ◆会議録
(本会議・常任委員会など)委員会の会議録を掲載するまでの間、委員長報告を掲載しています。
- ◆市議会だより
- ◆その他
議員名簿、議会データ、一般質問通告一覧、子どものページ、議長交際費など。



厚木市における安心・ 安全対策に向けた考えは

あつぎみらい 渡辺 貞雄 議員



問 大規模盛り土造成地を明確化したマップの公表後、市民への対応と対策は。

答 市長 大規模盛り土造成地マップは、市民が大規模盛り土造成地の位置や規模を把握できるように公表を行ったものである。マップについての相談などは、市民に安心していただけるよう、担当課窓口において説明を行っている。

問 空家等対策の推進

答 市長 特別措置法に基づき、空家対策を検討するための協議会を設置し、空家等対策基本計画を作成するとともに、総合的かつ効果的な空家対策を進めていく。

問 全国では、この11

南部産業拠点の整備を どのように進めていくのか

市政クラブ 石井 恒雄 議員



問 第9次厚木市総合計画第2期基本計画に位置付けられた南部産業拠点は、新東名高速道路の建設および戸田交差点改良事業の工事が順調に進み、ますます期待が高まってきた。整備をどのように進めていくのか。

答 市長 酒井土地区画整理組合設立準備委員会が主体となり、早期事業化に向け、さらなる権

●特別業務地区の土地利用

問 南部地域全体のまちづくりを推進する観点から、さらなる土地利用を推進し、地理的優位性を最大限に生かすため、特別業務地区の土地利用をどのようにしていくのか。

答 市長 南の玄関口

図書館の再整備について どう考えるか

公明党 寺岡 まゆみ 議員



問 中町第2・2地区周辺整備事業整備方針では、新たな集客の核となる複合施設を整備するとしている。集客の中心となる施設に図書館を位置付け、既成の概念にとらわれない新たな図書館をまちの玄関につくり、文化と教養豊かなまち厚木にイメージを転換するチャンスと考えるが、見解は。

答 社会教育部長 図書館には、乳幼児から高齢者まで、全ての世代を対象とした学びの支援や、市民に役立つ情報を提供する地域の情報拠点機能など、市民の教養、調査研究、知的レクリエーション機能が求められている。その中で中央

●療育施設の整備

問 重度の自閉症の方が高校卒業後に通所する施設が市内にはなく、他の市の事業所を選択される方がいる。通所できるデイサービスの事業所を市内につくることはできないか。

答 福祉部長 一人一人の障がいの状況を考慮できる専門的な知識や丁寧なケアが求められる。生活の質を上げるための専門的な支援を目指し、保護者、事業者、行政が一体となり、多方面から話し合い、検討している。

広報広聴

特別委員会から

厚木市議会では、市民の皆さまに議会を身近に感じていただくための思いで、平成24年から年2回議会報告会を開催しています。報告会は、第3回から地域ごとに開催し、第4回からはプロジェクトを活用するなど、分かりやすい報告会とし、さらに市民の皆さまとの意見交換を主に行うようになりました。報告会はこれまで、6回20会場で実施しましたが、今後は18歳からの選挙への参加も考え、大学生や高校生などとの意見交換を行う必要性も感じています。今度、子ども議会を開催、通年制の導入、さらに総仕上げとして議会基本条例を制定しました。今後は、議会改革に取り組み、市民の皆さまにご理解をいただくよう、より一層の努力をしてまいります。(松田則康)

都市間競争に生き残るため 何をすべきか

改革あつぎ 太田 洋 議員



問 県央の雄都を目指す厚木市が、近隣自治体との都市間競争にどのように打ち勝っていくのか。

答 市長 長年の懸案であった東名高速道路厚木インターチェンジ周辺に複合型商業施設を誘致するとともに、中心市街地におけるにぎわいの創出を図るため、アミューズをオープンした。さらに、50年ぶりに森の里東地区で工業系の区画整理事業に着手したほか、関口・山際地区および南部産業拠点地区の土地利用についても権利者と検

会議録の閲覧を！

本会議や委員会の詳しい内容は、インターネットや市政情報コーナー(本庁舎1階)などで会議録をご覧ください。なお、会議録がでるまでの間は、インターネット議会中継(録画放映)もご覧いただけます。



厚木南公民館の整備に向け 地域住民からの意見反映は

新政会 井上 武議員



問 厚木南公民館の整備に向け、地域住民の意見は反映されているか。

答 社会教育部長 地域住民で構成する厚木南公民館建設委員会の意見や施設利用者へのアンケート調査、パブリックコメントなどの意見を参考に、体育室や音楽室、調理室などの活動室の設置、高齢者が安全に利用できるような施設内のバリアフリー化、雨水を樹木の散水などに利用する雨水利用設備の設置などを設計に反映させている。

●中心市街地の避難所 問 中心市街地はマンション建設が進むとともに人口も増加しているため、地域防災計画で指定されている厚木小学校、厚木第二小学校、厚木中学校および厚木清南高校の4カ所の避難所では収容しきれなくなると考えられる。日本たばこ産業や相模ゴム工業などの民間企業との災害時の協定の締結などが考えられるが、緊急時に避難所として利用させていただくための連携を図る必要があるのではないかと。また、保護者への周知方法は、本年度からの実施に向け、昨夏から説明会などの実施やパンフレット、市広報、市ホームページなどで周知を図ってきたが、子どもが入所することになり、初めて調べる

はないか。

答 危機管理部長 一時滞在施設として3日間程度の受け入れの形で、現在はレインプラントホテル厚木と協定を締結している。中心市街地には受け入れていただけそうな企業があると考えているため、今後、地域の皆さまと協議しながら企業への働き掛けを進めたい。

一般質問

主な質問と答弁



依知地域の防災機能を備えた 公園の進捗と取り組みは

公明党 川口 仁議員



問 関口・山際地区の土地利用について、防災機能を備えた公園をという要望を非常に多く聞いている。防災公園の拡充は、都市マスタープランにも、地域防災計画にも載っている。進捗状況は。

答 霜島副市長 さがみ縦貫道路ができるなど、交通の利便性も向上している中で、この地域に何が必要かを検証している。防災公園については、都市計画上で進めている。地域の方々の意見が一番重要であるため、さまざまな意見を聞き、整備に向け検討し進めていく。

イヌ・ネコ殺処分ゼロ

問 地域猫活動が解決の近道と考えるが、この取り組みに対する考えは。

答 環境農政部長 人



土地利用計画などの検討が重ねられている関口・山際地区(上が相模原方面、下が関口方面。平成25年2月撮影)

道路交通法改正に伴う 自転車利用者への啓発は

公明党 遠藤 浩一議員



問 道路交通法改正に伴う自転車利用の変更に、利用者への啓発および交通安全指導などへの取り組みは。

答 市長 厚木警察署、バス事業者などと連携し、小学校などにおける交通安全教室の開催や、市内高等学校などにおけるマナーアップキャンペーンを通じて事前の周知啓発を行ってきた。また、スタントマンによる事故再現技法を用いた交通安全教室のほか、二輪

車や自転車の街頭安全点検などを通じ啓発活動を積極的に行っている。

●放課後の子どもの居場所づくり 問 本市の考えは。

答 市長 本市では留守家庭児童クラブや放課後子ども教室、児童館など、多様な放課後の居場所づくりに取り組んでいる。今後も次代を担う子どもたちを健全に育成する場、さまざまな体験の場や交流活動の充実を図り、多様な放課後の居

障がい者福祉における 相談支援体制の課題は

神奈川ネット 内川 由喜子議員



問 サービス等利用計画はモニタリングを経て評価を行うが、当事者や家族などが作成するセルフプランはモニタリングが義務付けられていない。今後どのようにされるか。

答 福祉部長 必要に応じてケースワーカーが病院や事業所などの関係機関と連携を図りながら、居宅訪問やケース会議に出席するなど、利用者の状況把握に努めている。

子育て支援策を 周知する取り組みは

民主クラブ 古川 環議員



問 子ども・子育て支援新制度が4月から開始されたが、実際の内容を保護者はきちんと理解できているのか。また、保護者への周知方法は。

答 子ども未来部長 本年度からの実施に向け、昨夏から説明会などの実施やパンフレット、市広報、市ホームページなどで周知を図ってきたが、子どもが入所することになり、初めて調べる

昭和音楽大学跡地利用の 現状と課題と方向性は

民主クラブ 名切 文梨議員



問 跡地利用については、病院やクリニックモールなどが計画されていた。病院は、平成27年4月に開設となっていたが、いまだに開設していない。市の見解は。

答 市長 昭和音楽大学が民間に売却し、事業者が開発を進めているものであり、本市としては、都市計画法に基づき開発許可などの手続きを適正に進めている。

問 開発許可申請について、慎重に審査したか。

外来生物画像投稿システムの 運用開始は

改革あつぎ 高田 浩議員



問 スマートフォンでも利用できる外来生物画像投稿システムの運用開始はいつか。

答 市長 8月の運用開始に向けて準備を進めている。このシステムを利用して、市民協働による外来種の駆除につなげていきたい。

答 環境農政部長 多くの方が興味を持つよう、周知を図ってきたい。

問 画像投稿システムは、道路補修、災害、落書き、不法投棄など、用途はアイデア次第である。市民や職員から最新情報が得られたら、厚木市も動きやすいこともあると思うが、いかがか。

答 市長 道路補修、防災などの他分野への導入を進めていきたい。

鳶尾山の維持管理の 現状と課題は

改革あつぎ 松本 樹影議員



問 観光資源としてどのように捉えているか。

答 産業振興部長 広域的なハイキングコースとなっており、展望台の眺望もよく、有用な観光資源の一つである。

問 どのように維持管理しているか。

答 産業振興部長 今年度、倒木処理や案内表示板の整備のための事業費を予算化している。

問 山頂付近についての課題は。

答 市長 隣接する愛川町とも連携を図りながら、現在の環境を維持していくことが重要である。

●獣害対策 問 獣害を受けにくい農作物の作付けに関し、普及指導の見解は。

丁寧に行い、理解いただいた上で保育を必要とする家庭が安心して預けられるようにしていく。

●病児保育

問 病児保育の必要性をどう考えるか。

答 子ども未来部長

新制度では、市が地域の実情に応じ実施することができたため、運営方法や場所など、さらに検討する必要がある。働きながら子育てをする保護者の苦労は計り知れないものがあるため、必要性を認識した上で実施に向けて検討を進める必要があると考える。

●障がい者に配慮した空調

問 公共施設で障がいなどがある方への空調を配慮できないか。

答 福祉部長 内気温

が本庁舎は28度、総合福祉センターでは高齢者や障がい者に配慮して27度に達したときに空調を稼働している。診察室や検診室などではできる限り補助空調を稼働していきたい。

病院特別委員会

6月定例会議終了後、厚木市立病院特別委員会が開かれ、執行機関から、厚木市立病院の整備状況などについて説明がありました。説明後の委員の主な質疑と執行機関の答弁を紹介します。

問 第Ⅱ期工事の山留の深さが14mと17.5mだが、あの地域は地盤が軟弱で深さが15、16mのところまでいかないといけないという話を聞く。この深さで大丈夫なのか。

答 今回の工事は、第Ⅰ期工事とはほぼ変わらない深さで計画している。今回は、山留の安全を兼ねるということで、土工事と並行してアースアンカーという地盤に反力を持たせるワイヤーを入れることを計画しているため、現段階ではこの深さで安全性は確保されている。

問 新たな立体式の駐車場だが、設計はできているのか。

答 現在、立体駐車場については、基本設計を行っている最中である。国道からの入り口という点において、その入り口を最終的に歩道近辺にするのか、現行のタクシー待機所にするのかなどを踏まえ、計画を進めたいと考えている。

問 国で病院の敷地内に薬局を併設することを認める方針だが、どのように受け止めているか。

答 現在は医薬分業の観点から、病院と薬局の間にフェンスなどを設置することになっている。高齢者などの利便性を考え、敷地内に薬局を設置できる方向となっているが、このことについては、動向を見ながら研究を進めていきたい。

答申書

【検討事項】

議会の在り方に関する検討について

【検討結果】 それぞれの項目については、次のとおりとする。

1 市議会議員選挙の時期について(市長選挙と同時に執行できないか)

これまでも、十分に時間をかけて検討・協議を行ってきたが、問題点の抽出や期待できる効果など、様々な観点からプ

平成26年10月21日に石井芳隆議長が諮問した「議会の在り方に関する検討について」の6項目のうち、次の事項に対し、6月19日付で議会運営委員会(川口仁委員長)から答申されています。

がりました。答申内容は、次の答申書のとおりです。

なお、諮問事項6は、2月20日付で、諮問事項2および諮問事項3は、3月20日付で答申されています。

議会運営の在り方など 議長の諮問に答申

―議会運営委員会―

政務活動費会計報告

会派略称 (所属議員数)	みらい (7人)	改革 (6人)	公明党 (4人)	共産党 (2人)	市政ク (2人)	民主ク (2人)	市民 (1人)	つばさ (1人)	新政会 (1人)	ネット (1人)	子育て (1人)
交付額	5,040,000	4,620,000	2,880,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	720,000	420,000	720,000	720,000	720,000
調査研究費	3,510,694	2,271,399	1,184,520	0	459,429	0	67,992	56,300	0	165,273	0
研修費	325,538	292,618	430,026	266,864	120,018	193,796	16,378	14,600	0	100,660	0
広報費	1,166,400	83,445	120,444	716,022	355,860	864,260	137,501	0	762,480	1,600	681,666
聴費	0	570,186	131,901	275,830	0	122,638	2,000	55,784	0	23,537	92,095
要請陳情活動費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	60,850	0	0	0	0	0	0	0	0
資料作成費	0	93,892	197,661	0	87,555	53,081	269,408	30,601	0	48,738	0
資料購入費	45,300	776,902	436,528	186,354	154,338	9,043	98,227	154,570	0	75,747	0
人件費	0	0	0	0	0	0	2,450	0	0	0	0
事務所費	8,490	588	319,793	0	0	0	0	0	0	147,270	0
合計	5,056,422	4,089,030	2,881,723	1,445,070	1,177,200	1,242,818	593,956	311,855	762,480	562,825	773,761
残額(返戻額)	0	530,970	0	0	262,800	197,182	126,044	108,145	0	157,175	0

※会派表記、正式名称、所属議員(―は代表者)【交付時の議員数を掲載。交付は4月(上半期分)と10月(下半期分)の年2回】
みらい…あつぎみらい：榎子雅人、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、難波達哉、越智一久、沼田幸一、松田則康 改革…改革あつぎ：小島一郎、松本樹影、松前進、高田浩、太田洋、徳間和男 公明党…公明党厚木市議員団：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、田上祥子 共産党…日本共産党厚木市議員団：釘久久子、栗山香代子 市政ク…市政クラブ：石井恒雄、井上敏夫 民主ク…民主クラブ：名切文梨、古川環 市民…あつぎ市民の党：奈良握 つばさ…つばさ：石井芳隆 新政会…新政会：井上武 ネット…神奈川ネットワーク運動：内川由喜子 子育て…子育て応援：泉修
※会派略称(所属議員数)は平成27年3月1日現在 ※交付額は、月の初日に各会派に所属する議員1人当たり月6万円を乗じた額で算出
※「改革あつぎ」の交付額は、平成26年8月7日付の会派異動届(所属議員数1人減)により、6万円×7人×5ヵ月分+6万円×6人×7ヵ月分。「つばさ」は、同日付の会派結成届により結成されたため、6万円×1人×7ヵ月分となります。

地方自治法や厚木市議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の調査研究に必要な経費の一部として、各会派に対して所属議員1人当たり月6万円の政務活動費を交付しています。

平成26年度における各会派の支出状況は左表のとおりです。



委員会の 査

動産の取得など

—主な質疑と答弁、意見—

動産の取得、補正予算の議案や陳情について、常任委員会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

○動産の取得について
問 高機能消防指令センター設備機器および消防救急デジタル無線(活動波)設備機器の入札は、全て市外の事業者だが、市内の企業に入札に参加してもらう努力はしたのか。

答 入札に当たっては、導入実績があること、また、救急搬送された方の個人情報保護のため、プライバシーマークを取得している事業者を条件にした。市内の企業を排除したわけではなく、枠を広げて実施した。

問 性能と効果は。
答 新システムは、既設のシステムよりコンピュータの能力などが格段に高くなっている。各装置の処理スピードも向上していることから、119番通報の受け付けから出動指令までの時間短縮が図られる。また、救急車などに搭載しているGPSの精度も向上し

市民福祉

○子宮頸がん予防ワクチン接種により支障を来している者への支援を求める陳情
問 市内の対象者は何人いるのか。

答 対象となるか分からないが、保護者から国への報告件数は4件である。

問 陳情の項目にある公的な社会サービスに

は、どのようなものがあるのか。

答 日常生活に支障がでるような場合、障害認定が認められることもあるので、障がい福祉課を紹介し、法にのっとって公的サービスを受けていただけるよう案内する。

《委員の意見》

・市内での対象が少ないから対応しなくてもいいというものではなく、しっかりとサポートすべきである。神奈川県では独自支援策を打ち出したが、県が支援をするからといって、すぐに厚木市も対応するというよりは、県の動向を見ながら、市が支援する根拠をこれから見いだしていくべきだと思う。

・県が予算をつけなかった場合、厚木市には支援をしてほしいと思う。被害を受けている方は大変苦しい思いをしているから、市に支援してほしいという陳情が出されたのだと思う。本来であれば、陳情を出された方々の思いを受け採択にすべきだ

議会用語

解説



■請願・陳情の採択、趣旨採択

請願・陳情の内容について、願意が妥当で法令上、行財政上実現性もあるような場合には、議会として賛同することになり、議会の意思決定は、請願・陳情を採択する方法によりなされることになります。また、願意は十分に理解できても、市の財政事情などから、当分の間は願意を実現することが不可能である場合などに、便宜的に「趣旨には賛成である」という意味の議決をすることがあり、その趣旨のみを取り上げることから、これを趣旨採択と呼んでいます。

環境教育

○平成27年度厚木市一般会計補正予算(第2号)

問 コミュニティ推進事業助成金に採択された内容は。

答 一般財団法人自治総合センターが、神奈川県を通して実施するコミュニティ助成事業の対象と

が、県が支援すること、趣旨採択でよいと思う。

して、本市の郷土芸能保存団体である相模人形芝居長谷座が認定された。

問 三田小学校の埋蔵文化財調査の内容は。

答 試掘調査では、縄文時代の土器や住居址などが見られ、大体4500年前から3千年前のものではないかという状況である。本調査については、グラウンド部分を除き、道路および擁壁の部分、ネットを立てるポールの部分を調査する。

委員会の所管事項調査

各委員会は、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政に反映させるため、先進都市を訪問し調査を行っています。

このほど実施した4常任委員会の調査は次のとおりです。

◆総務企画常任委員会 5月7・8日、中核市移行 保健所設置について(福岡県久留米市)

◆市民福祉常任委員会 5月12・13日、高齢者支援について「もやいネットセンター推進事業」(山口県周南市)

◆環境教育常任委員会 5月12・13日、中学校区教育について(福井県福井市)

◆都市経済常任委員会 5月12・13日、スマートインターチェンジ整備について(広島県廿日市市)

友好都市の訪問

市議会では、友好都市の韓国軍浦市に訪問団を派遣し友好交流を図りました。主な内容は次のとおりです。

◆厚木市・軍浦市

友好都市締結10周年記念

厚木市議会友好都市交流訪問団

5月1日～3日、軍浦市議会議長表敬訪問、軍浦市長表敬訪問、軍浦ツツジまつりへの参加など。

議会基本条例の概要

◆前文

厚木市議会が、積極的に議論できる議会を目指し、市民福祉の向上と市政の発展に寄与することを決意しています。

◆第1章 総則(第1条～第3条)

議会基本条例制定の目的、条例の位置付け、条例における用語の意義を定めています。

◆第2章 議会及び議員の活動(第4条～第10条)

議会の役割、議会および議員の活動原則、会派、政務活動費、議員連盟などについて定めています。

◆第3章 市民と議会の関係(第11条～第14条)

市民参加および市民との連携、議会報告会、請願および陳情、情報公開について定めています。

◆第4章 議会と行政の関係(第15条～第17条)

執行機関との関係、執行機関からの説明などについて定めています。

◆第5章 議会運営(第18条～第20条)

会期、議長および副議長、委員会について定めています。

◆第6章 議会の機能強化(第21条～第23条)

議会事務局の体制整備および強化、議会図書室の充実、予算の確保について定めています。

◆第7章 政治倫理、定数及び報酬(第24条～第26条)

政治倫理、議員定数、議員報酬について定めています。

◆第8章 条例の検証及び見直し(第27条)

議会基本条例の見直し手続きについて定めています。

条例の全文は、ホームページに掲載しています。

議会基本条例を制定

厚木市議会では、平成27年6月定例会議の最終日に議員提出議案として「厚木市議会基本条例」を提案し、可決・成立いたしました。

条例制定に至った経緯

議会基本条例の制定に向けた取り組みは、平成22年に当時の議長

の諮問に対し、議会運営委員会が「議会基本条例の必要性」について、答申したことが始まりです。

それから、歴代の議長が議会基本条例に関する諮問をし、この諮問に対し答申を繰り返す中、条例の制定は議会改革を行ってから検討する方向で進めてきました。

市民の意見を条例に反映

そして、26年に条例の制定に向け、具体的に進める答申があり、27年から条文の検討を始めました。

さらなる議会改革の推進

市議会では、これまで行ってきた議会改革の取り組みを中心に議会基本条例を策定しましたが、今後も議会改革を推進し、市民福祉の向上と市政の発展に寄与していけるよう、より一層努めてまいります。

特別委員会の報告

— 厚木市立病院特別委員会 —
— 広報広聴特別委員会 —

第4回会議（6月定例会議）最終日、厚木市立病院特別委員会の松田則康委員長と広報広聴特別委員会の釘丸久子委員長から、付議事件に関する調査研究の報告が行われました。

本会議での報告内容とそれぞれの報告書に記載の意見や課題を紹介します。

厚木市立病院 特別委員会

本特別委員会は、平成23年8月10日に厚木市立病院の整備・運営に関する調査研究特別委員会として設置、24年4月1日からは厚木市立病院特別委員会に名称を変更し、

これまでの新病院建設に関する進捗状況や課題の確認、建設現場の段階的な調査、さらに先進市の公立病院視察など、精力的に調査研究を行ってまいりました。

広報広聴 特別委員会

本特別委員会は、平成23年8月10日の設置以降、付議事件であります「議会の広報広聴活動の推進のための調査研究」について、これまで行政視察を含め32回の委員会を開催してまいりました。

この間、あつぎ市議会だよりの編集や議会報告会の運営方法の検討・協議を行い、議会の広報広聴活動の充実を図ってまいりました。

あつぎ市議会だよりで

医師や看護師不足など、厳しい状況にある中、医療環境の変化に柔軟に対応し、より戦略的な病院経営を実現するため、運営形態を地方公営企業法の全部適用に移行されましたので、経済性を考慮した健全で安定した病院運営が推進されることを期待いたします。

神奈川県立病院建設時代の地中埋設物の発覚による工期の遅れや撤去費用の問題などにつきましては、県に対して誠意ある対応を求める要望書を本特別委員会として提出いたしました。執行機関においても県との調停を行ってききましたが、現在も未解決の状態であるため、今後も引き続き取り組むべき課題であります。

また、全面完成に向けて

は、第Ⅱ期工事、第Ⅲ期工事を経て29年3月末に完成予定となっていることから、今後も市議会への定期的な説明、報告を求めていると考えています。

医療ニーズを的確に捕捉し、地域における役割

は、定例会や定例会議などの内容を中心に編集を行い、市民の皆さまにより議会に関心を持っていただけるよう、作成してまいりました。

議会報告会は、議会改革の一環として、24年5月に本市議会ですべてとなる「第1回議会報告会」を開催しました。

運営に当たっては、全議員が会派の枠を超えて協力し、準備から当日の運営まで、議員自らの手で行ってまいりました。

報告会は、これまでに6回開催し、より多くの市民の皆さまに参加していただけるよう、会場と



第Ⅰ期工事が完了し、医療機能の70%が稼働している新市立病院。平成29年春に全面オープンが予定されている。

分担当を明確にするとともに、病病連携、病診連携をさらに進め、市民の皆さまから信頼される地域の中核病院として、市民本位の医療を提供することを望むとともに、報告書に記載の次の意見を付して、報告いたします。

なった地域の話題やテーマを設けた意見交換を実施するなど、回を重ねるごとに、改善と工夫を行ってまいりました。

このように、継続的に取り組んできたことにより、延べ20会場に市民の皆さまなど、960人の方に参加していただき、開かれた議会の推進に寄与できたものと実感しております。

こうしたことから、議会報告会については、議会における広報活動および広聴活動を同時に行える重要な事項であり、継続して取り組む必要があります。

この点を踏まえ、今後の議会における広報広聴活動のさらなる推進に向け、継続して調査研究に取り組みれることを期待し、次の諸課題を付して、報告いたします。



平成24年5月に行われた「第1回議会報告会」の様子

各委員からの 意見

1 病院整備に関すること

・地中埋設物の発覚による神奈川県との調停事件は、結果的に不調であるため、今後は提訴も視野に入れ、継続した話し合いを行うこと。

・地中埋設物の撤去等によつて工事の進捗に大きな影響が及んでいることから、当初計画した市民が安心して利用できる新病院建設の推進と駐車場等周辺環境整備を含めた全体像を早期に明確にすること。

・駐車場整備の際は、車椅子利用者、妊産婦、乳幼児連れの方、けがなどで歩行困難な方等専用の

駐車スペースを十分確保し、そこには健常者が駐車することのないよう管理すること。

・新病院建設過程において、病院内の動線が複雑化しているため、患者等にわかりやすい表示を行うこと。

2 病院機能に関すること

・がんの早期発見のために有効なPET-CTを初めとした先進医療の導入を検討すること。

・新病院機能に十分対応できる医療スタッフ及び事務スタッフを確保すること。

・育児の手の必要な小児病棟の患者に対する介助者を充実させること。

3 病院経営に関すること

・厚木市立病院経営計画策定後、入院・外来患者

数は計画を下回り、厳しい経営状況となっているため、計画4年目の平成27年度において見直しを行い、健全財政の確立を図ること。

4 他部門との連携に関すること

・医師会との連携・協力のもと、病院内もしくは病院敷地内での病児保育の導入を検討すること。

厚木市立病院 特別委員会

委員長 松田則康
副委員長 栗山香代子
委員 古川環
松本樹影

寺岡まゆみ
沼田幸一
田上祥子
石井恒雄
徳間和男

各委員からの 課題

○議会報告会について

・各会場を常任委員会が担当する際、内容が常任委員会の所管事項に偏らないようにし、幅広い報告となるよう検討されたい。

・議会報告会は議会全体で実施しているため、地域の話題や常任委員会の所管事項に限ったテーマとすることなく、市全体に関する内容が盛り込まれるよう、様々な観点から班編成を検討されたい。

・参加者からの意見等を議会活動に十分生かせるよう、意見交換に重点を置いた運営方法を検討されたい。

・若い世代の政治への関心を高めるよう、大学生や高校生等を対象に開催することを検討されたい。

・参加者との活発な意見交換ができるよう、テーマを設けるとともに、そのテーマを事前に周知する方法を検討されたい。

・参加者を増やすため、開催する会場の地域に重点を置いた街頭キャンペーンの実施や、自治会と協力し回覧板を活用す

広報広聴特別委員会

委員長 釘丸久子
副委員長 名切文梨
委員 瀧口慎太郎
松本樹影

遠藤浩一
井上敏夫
松前進
松田則康
田上祥子

本 会 議 の 審 議 結 果

第 3 回 会 議 提 出 案 件		各会派の賛否 ○…賛成、●…反対、―…欠席										議決結果
		みらい	改 革	公明党	共産党	市政ク	民主ク	市民	つばさ	新政会	ネッ	
議 案 第 38 号	専決処分の承認を求めることについて（厚木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例）	○	○	○	●	○	○-	●	（議 長）	○	○	承認
議 案 第 39 号	専決処分の承認を求めることについて（厚木市市税条例等の一部を改正する条例）	○	○	○	●	○	○-	●		○	○	承認
議 案 第 40 号	厚木市介護保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	●	○	○-	●		○	○	可決
議 案 第 41 号	平成27年度厚木市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	●	○	○-	●		○	○	可決
議 案 第 42 号	平成27年度厚木市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	●	○	○-	●		○	○	可決

◎平成27年4月21日議決時の会派構成など ※議長…石井芳隆（議長は採決に加わりません）、副議長…難波達哉
※会派表記、正式名称、議員数、所属議員（―は代表者）
みらい…あつぎみらい（7）：神子雅人、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、難波達哉、越智久、沼田幸一、松田則康 改革…改革あつぎ（6）：小島一郎、松本樹影、松前進、高田浩、太田洋、徳間和男
公明党…公明党厚木市議員団（4）：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、田上祥子 共産党…日本共産党厚木市議員団（2）：釘丸久子、栗山香代子 市政ク…市政クラブ（2）：石井恒雄、井上敏夫
民主ク…民主クラブ（2）：名切文梨（欠席）、古川環 市民…あつぎ市民の党（1）：奈良握 つばさ…つばさ（1）：石井芳隆 新政会…新政会（1）：井上武
ネット…神奈川ネットワーク運動（1）：内川由喜子

第 4 回 会 議 （ 6 月 定 例 会 議 ） 提 出 案 件		各会派の賛否 ○…賛成、●…反対										議決結果
		みらい	改 革	公明党	共産党	市政ク	民主ク	市民	つばさ	新政会	ネッ	
議 案 第 43 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	（議 長）	○	○	同意
議 案 第 44 号	固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	同意
議 案 第 45 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	同意
議 案 第 46 号	人権擁護委員の候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	同意
議 案 第 47 号	動産の取得について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
議 案 第 48 号	平成27年度厚木市一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決
請 願 第 1 号	所得税法第56条の廃止を求める意見書を国に提出することを求める請願	●	●	●	○	●	○	○	（議 長）	○	○	不採択
陳 情 第 3 号	保険診療への消費税ゼロ税率課税(免税措置)とする意見書を国に提出することを求める陳情	●	○	●	○	●	○●	○		●	○	不採択
陳 情 第 4 号	子宮頸がん予防ワクチン接種により支障を来している者への支援を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○		○	○	趣旨採択
陳 情 第 5 号	「平和安全法制整備法」「国際平和支援法」案の廃案を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	○●	●	○	●	○●	○		●	○	不採択
議員提出議案第3号	厚木市議会基本条例について	○	○	○	○	○	○	○	（議 長）	○	○	可決
議員提出議案第4号	厚木市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○		○	○	可決

◎平成27年6月24日議決時の会派構成など ※議長…石井芳隆（議長は採決に加わりません）、副議長…難波達哉
※会派表記、正式名称、議員数、所属議員（―は代表者）
みらい…あつぎみらい（7）：神子雅人、瀧口慎太郎、渡辺貞雄、難波達哉、越智久、沼田幸一、松田則康 改革…改革あつぎ（6）：小島一郎、松本樹影、松前進（陳情第5号賛成）、高田浩（陳情第5号賛成）、太田洋、徳間和男 公明党…公明党厚木市議員団（4）：川口仁、寺岡まゆみ、遠藤浩一、田上祥子 共産党…日本共産党厚木市議員団（2）：釘丸久子、栗山香代子
市政ク…市政クラブ（2）：石井恒雄、井上敏夫 民主ク…民主クラブ（2）：名切文梨（陳情第3号および第5号賛成）、古川環 市民…あつぎ市民の党（1）：奈良握
つばさ…つばさ（1）：石井芳隆 新政会…新政会（1）：井上武 ネット…神奈川ネットワーク運動（1）：内川由喜子

第5回会議 開催予定日

●本会議
8月7日（金）…議長・副議長の選挙など

市議会では、インターネットによる本会議・常任委員会・特別委員会の生中継と録画中継を実施しています。「生中継」は、会議の模様をそのまま中継。「録画中継」は、日程や議員名などから検索できます。

ご覧になるには、ホームページアドレス(1面下)を入力、または

第6回会議（9月定例会議）開催予定日

●本会議
9月1日(火) ……議案等質疑
9月7日(月)～9日（水） ……一般質問
10月5日(月) …委員長報告・討論・採決

●常任委員会
総務企画…① 9月11日(金) ②24日(木)
市民福祉…① 9月14日(月) ②25日(金)
環境教育…① 9月15日(火) ②28日(月)
都市経済…① 9月16日(水) ②29日(火)

※日程のうち、①は所管の議案審査（決算を除く）、②は所管の決算議案審査です。



※会議は、原則として午前9時に開きます。傍聴は、本庁舎5階ロビーで受け付けます。